

新給食センターの運営について

市長/新センター1カ所で行う。



黒部 和久 議員

議員 令和3年9月の供用開始を目指し、現在の6センターを統合し、1つの施設で運営する為の新センター建設予算が今回計上されている。私は従来から、建設には賛同するが、いきなり1センターで開始するのは様々な混乱が懸念されるのでまずは、深江、口之津と新センターとの3施設から始めるべきだと主張してきたが、何故それではダメなのか。

ておらず、県の毎年の定期検査でも指摘を受けており、これらを解消する為には、新センターでスタートする事を決定した。

の議会の経緯や、本市の給食施設の現状・課題・今後の児童生徒数の予測等を考慮した結果、1センター方式が適当との結論に至った。

議員 大災害による建築基準や、アレルギー等による衛生基準等の法改定により、それ以前からの施設が新基準を満たさないまま運営している例は近隣の島原、雲仙市をはじめ、日本中の自治体に非常に多くある。これを「既存不適格」というが、本市の現センターもまさにこの施設である。だがアレルギーや食中毒発生

その場合の栄養指導職員数は、6名から何名になるのか。

深江、口之津センターは平成17年開所の比較的新しい施設であり、新センター完成後も、当分の間この2つを含めた3センターで運営したほうが、納入、作食、配送のリスクが軽減するのではない

加配を含め3名になると思われる。

「既存不適格」というが、本市の現センターもまさにこの施設である。だがアレルギーや食中毒発生

食育に逆行している。いずれにしても、当初11億余で見積った建設予算が、10億以上も高くなった事への、詳細で充分な説明が成されぬままの今回の予算計上は、とても納得できない。

深江、口之津センターは平成17年開所の比較的新しい施設であり、新センター完成後も、当分の間この2つを含めた3センターで運営したほうが、納入、作食、配送のリスクが軽減するのではない

その案も含めた5案を作成し検討したが、委託料・人件費・光熱水費等の10年間の運営費等の比較や、これまで

深江、口之津センターは平成17年開所の比較的新しい施設であり、新センター完成後も、当分の間この2つを含めた3センターで運営したほうが、納入、作食、配送のリスクが軽減するのではない

その場合の栄養指導職員数は、6名から何名になるのか。

深江、口之津センターは平成17年開所の比較的新しい施設であり、新センター完成後も、当分の間この2つを含めた3センターで運営したほうが、納入、作食、配送のリスクが軽減するのではない

その案も含めた5案を作成し検討したが、委託料・人件費・光熱水費等の10年間の運営費等の比較や、これまで



口之津学校給食センター

質問の様子を動画で見よう



松本市長に聞く



吉岡 巖 議員

市民の生活と娯楽施設はどちらが大切か

議員 県大会、九州大会になった場合、駐車場の管理にご苦労されている現場を確認いただき、その上で市長にも駐車場の確保をお願いしている。

市長 布津小学校前の海岸埋め立てについては、吉岡議員からこれまでも議会を通じて質問があったところである。この件に関しては、地元の関係者のご意見も踏まえ、その用途、財源の確保等も検討していく必要がある

給食センター計画について

とされている。県及び関係機関との協議を進めるとともに、必要な調査を早急に行っていく。

議員 給食センター計画は、早く着工しないと、建設費がかさむだけである。その点を、市長はどのように考えておられるのか。市長がふらふらしている、一生懸命仕事をした職員がやる気がなくなってしまうという声も出ている。指導者として、きちっと筋道を立てて、まっすぐ歩いてもら

わんことには、職員からも市長の人望が薄れていくんじゃないかと思ったり、この給食センターをどのようにされ、いつ着工するのか。

市長 経過については、8月の全員協議会で、議員の皆様へ説明したが、新センターへの統合時期、建設費、運営費を考慮して、新給食センターの1センター方式が適当というところで、結論を出したところである。一般

堂崎海岸埋立地利用について

会計補正予算に、新給食センター建設の関連予算を計上しており、議決をいただいたならば、令和3年9月の供用開始に遅れないように、確実に事業を進めていきたいと考えている。

議員 自衛隊を誘致する考えはないか。有家庭の埋め立て、20ha余りに誘致すれば、関連企業も出てくるし、若い隊員が来れば子供も生まれ、少子化対策も解消され、一石二鳥ではないかと思う。

市長 議員からのご提案については、1つの考えだと思っている。



堂崎海岸埋立地

質問の様子を動画で見よう

